



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 杏林製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4569 URL <https://www.kyorin-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 荻原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 番場 作郎

TEL 03-6374-9704

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	29,654	△1.9	964	△59.3	1,241	△52.7	824	△60.8
2026年3月期第1四半期	30,229	6.4	2,368	106.0	2,624	85.1	2,100	137.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 30百万円(△98.5%) 2026年3月期第1四半期 2,020百万円(72.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.35	—
2026年3月期第1四半期	36.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	188,609	140,304	74.4
2026年3月期	195,455	142,425	72.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 140,304百万円 2026年3月期 142,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	37.00	57.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,800	△1.6	△300	—	△100	—	0	△100.0	0.00
通期	121,800	△3.5	2,000	△43.9	2,300	△42.9	1,500	△56.5	26.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	59,945,641株	2026年3月期	59,945,641株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,499,370株	2026年3月期	2,499,346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	57,446,271株	2026年3月期1Q	57,448,849株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、2023年度に策定した長期ビジョン「Vision 110（2023年度～2032年度）」の実現に向け、3つのステージからなる中期経営計画を推進しており、2026年度より第二段階にあたる中期経営計画「Vision 110－Stage2－（2026年度～2029年度）」を開始し、その目標達成に向け取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、以下の通りです。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率(%)
売上高	30,229	29,654	△575	△1.9
営業利益	2,368	964	△1,404	△59.3
経常利益	2,624	1,241	△1,382	△52.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,100	824	△1,276	△60.8

国内医療用医薬品業界は、薬価改定をはじめとする継続的な医療費抑制策の推進によって一層厳しい事業環境にあります。このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、29,654百万円と前年同期比575百万円（前年同期比1.9%減）の減収となりました。

利益面では、売上減少を要因として売上総利益は12,178百万円と前年同期に対して1,083百万円の減少となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期に対して321百万円増加（研究開発費は390百万円増加）しました。その結果、営業利益は964百万円（前年同期比59.3%減）、経常利益は1,241百万円（前年同期比52.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は824百万円（前年同期比60.8%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高の状況につきましては、以下の通りです。

〔新医薬品等（国内）〕

当社グループは、中期経営計画「Vision 110－Stage2－」の事業戦略の一つとして「新薬の普及最大化」を掲げ、積極的な営業活動を展開しています。当第1四半期連結累計期間は、主力製品である過活動膀胱治療剤「ベオーバ」の売上は伸長しましたが、薬価改定（杏林製薬㈱4%台）の影響等により新医薬品等（国内）の売上高は21,070百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

〔新医薬品（海外）〕

「ガチフロキサシン」に関わる収入の反動減等により、新医薬品（海外）の売上高は131百万円（前年同期比63.3%減）となりました。

〔後発医薬品〕

安定供給に最大限注力するとともに主要品目の売り上げ拡大に努め、オーソライズド・ジェネリックや2026年度発売の追補収載品の売上寄与等により、後発医薬品の売上高は8,452百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

品質確保の取り組みについては、杏林製薬㈱、キョーリン リメディオ㈱、キョーリン製薬グループ工場㈱の全てのグループ会社が丸となり、GMP*などの法令遵守の徹底を図るとともに品質管理体制のより一層の強化に努めています。今後とも信頼性の確保に最大限注力し、高品質で安心・安全な製品を提供していきます。

*医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準

当社グループの研究開発の状況は、以下のとおりです。

当社グループは、医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供し、人々の健康に貢献することを使命としています。杏林製薬㈱では、創薬研究の加速と開発プロジェクトの価値最大化に向けた組織体制を構築し、中長期的な成長を支える新薬の創出力強化を図っています。創薬研究については、領域を「疼痛」「自己免疫疾患」「神経筋疾患」に絞り、研究テーマの創出や外部アセットの獲得を進めています。また、当社のコア技術で

ある低分子創薬のさらなる強化に加え、外部の新規技術等も積極的に活用し、新薬の創製に取り組んでいます。開発プロジェクトについては、価値最大化に向けた戦略的かつ機動的なプロジェクトマネジメント体制のもとで推進しています。

当第1四半期連結累計期間の開発パイプラインの状況は、以下の通りです。

過活動膀胱治療薬「KRP-114VP（ベオーバの小児適応）」については、第3相臨床試験を開始し、耳鳴治療用アプリ「KRP-DT123」及び慢性咳嗽治療用アプリ「KRP-DC125」についてはそれぞれ検証的試験を開始しました。

一方、間質性肺疾患治療薬「KRP-R120」については、当社の開発戦略等を総合的に勘案した結果、KRP-R120に関するaTyr社とのライセンス契約を解約することとしました。また感冒後嗅覚障害治療薬「CYR-064」については、オプション権を行使しないことを決定しました。

以上の結果、研究開発費は2,381百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

また中期経営計画「Vision 110 -Stage2-」では、「積極的な導入投資による開発パイプラインの拡充」を最も重要な事業戦略と位置付け、Stage2期間中に累計10件以上の導入品獲得という目標の達成に向けて取り組んでいます。当第1四半期連結累計期間の進捗としては、2026年7月に参天製薬㈱とアレルギー性結膜炎治療剤「アレジオン®眼瞼クリーム0.5%」の日本における共同販売促進契約を締結しました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、流動資産が現金及び預金、仕掛品、流動資産のその他の増加、受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品の減少等により5,048百万円減少し、固定資産は投資有価証券の減少等により1,796百万円減少したため、前連結会計年度末と比較して6,845百万円減少し、188,609百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して4,725百万円減少し、48,304百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末と比較して2,120百万円減少し、140,304百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.4%となり、前連結会計年度末より1.5ポイント上昇しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、2026年5月12日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,802	13,668
受取手形、売掛金及び契約資産	47,342	40,438
有価証券	3,279	3,287
商品及び製品	23,873	23,380
仕掛品	14,754	16,028
原材料及び貯蔵品	29,161	27,796
その他	4,971	5,531
貸倒引当金	△43	△36
流動資産合計	135,142	130,093
固定資産		
有形固定資産	30,506	30,194
無形固定資産	4,085	3,891
投資その他の資産		
投資有価証券	18,863	17,445
退職給付に係る資産	5,545	5,599
その他	1,392	1,466
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	25,720	24,429
固定資産合計	60,312	58,515
資産合計	195,455	188,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,441	11,680
短期借入金	2,600	2,600
1年内返済予定の長期借入金	273	254
未払法人税等	898	418
賞与引当金	2,157	1,117
その他	8,997	9,036
流動負債合計	29,368	25,107
固定負債		
長期借入金	20,444	20,389
繰延税金負債	1,915	1,526
株式給付引当金	453	454
退職給付に係る負債	95	95
その他	751	732
固定負債合計	23,661	23,197
負債合計	53,029	48,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	131,545	130,218
自己株式	△5,929	△5,929
株主資本合計	131,067	129,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,289	6,505
繰延ヘッジ損益	64	129
退職給付に係る調整累計額	4,003	3,928
その他の包括利益累計額合計	11,357	10,563
純資産合計	142,425	140,304
負債純資産合計	195,455	188,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	30,229	29,654
売上原価	16,968	17,475
売上総利益	13,261	12,178
販売費及び一般管理費	10,892	11,213
営業利益	2,368	964
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	233	288
持分法による投資利益	11	20
為替差益	62	13
その他	19	17
営業外収益合計	326	340
営業外費用		
支払利息	64	59
減価償却費	2	2
その他	3	1
営業外費用合計	71	63
経常利益	2,624	1,241
特別利益		
固定資産売却益	4	0
補助金収入	100	100
特別利益合計	104	100
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	—	152
特別損失合計	0	154
税金等調整前四半期純利益	2,728	1,187
法人税等	628	363
四半期純利益	2,100	824
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,100	824

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,100	824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△258	△824
繰延ヘッジ損益	113	65
退職給付に係る調整額	37	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	27	40
その他の包括利益合計	△80	△794
四半期包括利益	2,020	30
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,020	30
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等は法人税等調整額を含めた金額であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,140百万円	1,144百万円